

RS ウイルス母子免疫ワクチン（アブリスボ®筋注用）接種開始のお知らせ

RS ウイルス感染症は生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%が初感染しますが、特に生後6か月未満では重症化しやすく、その後の気管支喘息との関係性も指摘されています。

RS ウイルス母子免疫ワクチンは、妊娠中のお母さんに接種することで、お母さんの体内でRS ウイルスに対する抗体を産生します。その抗体が胎盤を通じて胎児へ移行することで、生後6か月頃までRS ウイルス感染症の発症や重症化を防ぐといわれています。

そこで、当院では令和7年7月からRS ウイルス母子免疫ワクチン（アブリスボ®筋注用）の接種を、希望される方に対して実施することにしました。

実施場所：当院の健診センター（健診センター窓口または電話で事前予約必要）

実施日程：毎週水曜日の午前

対象者：妊娠24週から妊娠36週の当院で分娩予約されている妊婦さん（妊娠28週から妊娠36週の接種を推奨）

投与回数：1回

接種費用：33,000 円（税込）

ご不明な点は、平日の午前中に健診センターまでお問い合わせください。

以下のページもご参照ください。

[公益社団法人 日本産科婦人科学会 一般の皆様へ](#)

八尾市立病院 産婦人科